筑波學生新聞

発行所
筑波大学学生新聞会
編集代表
田中 伸夫
〒305 新治郡桜村天久保
3-8-13高野ハイツA-105
TEL 0298(52)4460
振替 宇都宮6-31450
月刊 価格100円

年間1500万の差額 生活にしわ寄せ

水道料金

配管改修か学生負担か

学生宿舎で使う生活用水「特別料金」を値上げすることついて検討していた筑波大学学生部は六月三日、私設メーターによるチェック体制を強化する方針を明らかにした。「特別料金」は現在、年約一、五〇〇万円にものぼり、昨年学術審議会（現在学生部長）が「学生宿舎の水道料金を公共料金並みにするよう検討すべき」と答申したことを受けて、大学側は「学生部長の諮問機関として、今年の料金改訂を検討する」としていた。

水道料金をめぐっては、昨年六、五後学期の寮に適用されている月に大幅料金二〇〇円から七〇〇円へと値上げとなっている。今年の料金改訂では、「学生部長の諮問機関」が、昨年学術審議会答申を受けて、大学側は

一年生が見た 夏こう過ごすのが正しい

墓場のない学園都市

人文一年　山本峰規子

入学して早二ヵ月。大学生活に期待した四月、準備に翻弄された五月、試験にげかけから夏休みにあこがれる六月、一年生の味さんが語る過ごし方。男へ、女へ三つの涙を綴います。学数共〇〇年程度、原稿の返用はいたしかねます。宛先・〒三〇五筑波学園郵便局私書箱29号筑波大学学生新聞会「虫」係。

だいたい人間は生んだるって感じ？　やってんでしょうね、そういうんだ、学園都市じゃ、なんかこの辺は墓場がないんですね、雰囲気がるんじゃないですか、都市としては墓場がないんじゃないですか。都市とは何かと考えさせられます。墓所じゃ、なんかこの辺は墓場がないんじゃないですか。まあ、私も神社育ちっちゃ社宅ではなかったんだけど、やっぱ、墓場ってのは、なんかこの辺は墓場がないんじゃないですか。

僕　思わずテレしまう

比文一年　小松正

僕は元来、軟弱で主体性のないクラゲのような人間なので、例のニュースなどを聞いてしまうと、思わずテレしまう。

ニュースを聞いてみると、ある無い風の方が、ただ、ボケ状態で、ぼーっとしてしまった。そして、筑波大学って、きっとどこの学生でもいるような学生がいる。

また、それもいろいろ、学園都市じゃ、なんかこの辺は墓場がないんじゃないですか。

嘘の自分を演じる日々

二群一年　男子

僕は結構内気な高校出身者なので、学園都市じゃ、なんかこの辺は墓場がないんじゃないですか。

筑波の環境を生かして

人文一年　中川浩

筑波っていうのは、東京の田舎なんかに比べて静かだし、設備も整っているし、人も若くて、勉強するにはいい環境だと思って来たんです。

クラスメイトと裸のつきあい

生物一年　女子

「みーっ」って学生になってまで、学級会をやらなければならないのかなあ？

オリエンテーションやクラス編成、一泊旅行などの前から組まれ、二十人ぐらいの同年齢、それぞれも、非常識なプレッシャーは、一緒に海に飛び込ってこんなことを求めたいのかなあ？

女へ。ネクラってきらいだろう？

生物二年　男子

「しんじ連」のTシャツ、ってのは、ネクラ？

男へ。もっと深く人間を見よ

医技短二年　女子

根クラ（根っからクラブっていうのもいるんだ。）

肩の力を抜いて「私らしく」

一群二年　女子

先ほどの「夏こう過ごすのが正しい」の記事、ちょっと、ちょっと、ちょっと

探訪 研究員の街 学園都市ルポ

スマートな生活 〝安楽〟に流されて

際第七ブラスアルト路とコンクリートの関道、約一八五〇〇メタール(約二キロメートル半万程)に及ぶ広大な都市である。この研究学園地区には、現在八〇の研究機関があり、三万人を超える人々が住んでいる。住居の不足は問題、某大なる公園住宅群もらしている。世帯は三〇代家庭が四〇代家庭を、そして三〇代家庭が四〇代家庭を、そして三〇代家庭が二〇代家庭を、そして二〇代家庭が中心となっている。数学者である高木二三郎氏は現在の研究学園地区の特徴を次のように語る。

研究学園地区の特徴別人口は、丁目ごとにあるひとり住宅内の学生が本学をふくめ三十二丁目のうち、わゆる住宅の一団地に住み八〇家庭を持ている。・自治会がなく、自治会がなくとも住宅地区を通ってゆく。・東京・筑波間の通勤者が多い。・研究学園地区の住民は、ほとんどが研究者である。

もっぱらとも言える大四万人の人口を抱えながらも、研究学園地区は、「ベッドタウン」の性格が強い。住民にコンクリートの匂い気臭、即ち、しゃれた感じ、ごうしゃな感じ、ちょっとした感覚を感じ、そして、そこに住む人々は、学園地区の住民であるとは言えない。

これについて、学園地区に住んでいる人々は、感じているようだ。

研究学園地区の住宅は、一戸建ての住宅、アパート、団地、官舎、社宅、寮、学生宿舎、民間アパート、民間住宅、民間住宅、民間住宅

人間の無化が生む強姦

レイプ

存在の略奪

五月十五日、第八回屋外研究会（筑波研究フェスCC）が行なわれた。この研究会は、毎年、五月上旬、稲穂祭に合わせて、筑波大学の学生が、日頃、研究している成果を発表する場として、毎年、開催されている。今年は、「なぜ、レイプ」という題で、ATOM TERRA（アトムテラ）という、ビデオ作品が、上映された。この作品は、ある、ビデオ作品を、ビデオ、ビデオ、ビデオ